

News Release

—交通事故のない社会を目指して—

『交通安全MAP』を公開

身近で発生している交通事故を見える化！

交通事故を“自分ごと”として捉えるためのシステムを開発！

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山 美彦）では、安全・安心な地域社会づくりに向けて、全国各地で様々な交通事故未然防止活動を展開しています。その一環として、令和7年9月21日(日)から30日(火)に実施される「令和7年 秋の全国交通安全運動」に先立ち、児童の交通事故未然防止等を目的に、地域の事故情報を可視化できるシステム『交通安全MAP』を開発し、9月10日(水)よりWEB上で公開を開始しました。

■ 背景・目的

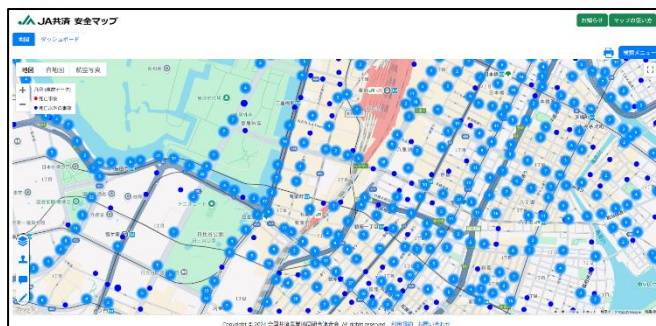
近年、児童の登下校時における痛ましい事故が後を絶たず、地域社会における交通安全対策の重要性が高まっています。こうした状況を受けて、地域の事故情報を可視化することにより、交通事故をより“自分ごと”として感じることができる『交通安全MAP』を開発いたしました。

主に学校や自治体などで開催される交通安全教室での活用や、小学生を対象とした家庭内・教育現場における交通安全指導で活用いただくことを想定しており、生活圏内に潜む危険を認識し、交通事故を“自分ごと”として感じていただくことで、児童の登下校時における交通事故の未然防止、並びに地域住民の交通安全意識の向上に資することを目的としています。

■ 『交通安全MAP』の概要

『交通安全MAP』は、全国各地で発生した過去の交通事故データを地図上にわかりやすく表示することで、各地域における危険箇所や事故傾向を把握・分析できる情報提供ツールです。

警察庁が公開する交通事故統計情報（オープンデータ）とJ A共済連が保有する自動車共済金支払データを組み合わせることにより、従来の公的統計では把握が難しかった軽微な事故や地方の事故情報を補完し、よりきめ細やかな事故情報の可視化を実現しています。



【『交通安全MAP』トップ画面】

■ 主な機能と特徴について

1. マップ機能

<特徴1：「地図」で事故を確認>

事故発生場所や事故発生件数を地図上に表示するほか、小・中学校の学区エリアについても境界線で表示することが可能です。

事故発生ポイントごとに事故の詳細情報が表示されるほか、Google ストリートビューで現場状況を確認できます。



<特徴2：楽しく学ぶための機能が充実>

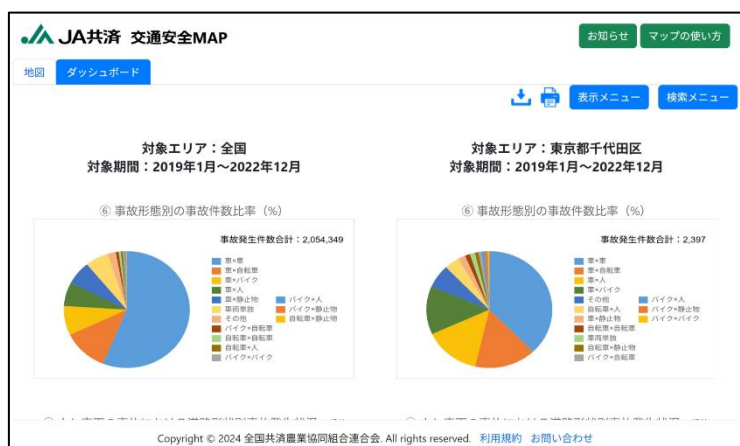
地図上に横断歩道や踏切などのスタンプを押すことができるほか、詳細や補足情報をコメントとして記録することが可能です。また、家から学校までのルートを表示することができます。



2. ダッシュボード機能

<特徴：交通事故状況を自動でグラフ化>

検索したエリアと全国の交通事故状況を自動でグラフ化し、横並びで表示します。曜日・事故形態などで絞り込めるほか、グラフをダウンロードや印刷することが可能です。



■『交通安全MAP』特設WEBサイトを公開



『交通安全MAP』の公開にあわせて、9月10日（水）より、特設WEBサイトを公開します。本サイトでは、『交通安全MAP』の特徴について紹介するほか、直接『交通安全MAP』にアクセスできるリンクを掲載しています。

○特設WEBサイト

URL：https://social.ja-kyosai.or.jp/kotsuanzen_map/

○『交通安全MAP』

URL：<https://social-ja-kyosai-kotsuanzenmap.jp/map/>

JA共済連では、引き続き、安心・安全な地域社会づくりを目指して、様々な機会を通じて交通安全啓発活動に取り組んでまいります。